



宮城県借上げ住宅契約申請書兼誓約書

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

私は、県借上げ住宅契約申請をするに当たり、裏面の誓約内容及び注意事項を十分に理解し、遵守することを誓約した上で申請します。また、契約書の入居者の義務の内容を遵守し、契約期間の終期までに残置物を全て処理した上で本物件を明け渡すことを誓約します。

なお、この申請書に記入した内容は事実と相違ありません。

1 申請人（入居者が記入してください）

| | | | | | | | |
|-------|-------|--|--------|----|---|----|---|
| フリガナ | 申請日 | | | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| 氏名 | 印 | | | 生 | 年 | 月 | 日 |
| 現住所 | 昭和・平成 | | | 年 | 月 | 日生 | |
| 電話番号 | 自宅 | | 携帯 | | | | |
| 勤務先 | (名称) | | (電話番号) | | | | |
| | (所在地) | | | | | | |
| 被災時住所 | | | | | | | |

| | | | |
|-----------------------|------|--------|---------|
| 緊急時 連絡先 (別世帯の方) | 氏名 | (フリガナ) | 入居者との関係 |
| | 住所 | | |
| | 電話番号 | | |

2 入居者名及び同居者名（現時点）

| 入居者等 | 氏名 (フリガナ) | 続柄 | 生年月日 | 年齢 |
|-----------|-----------|-----|----------|----|
| 入居者 (申請人) | | 本人 | | |
| 同居人 | 配偶者 | 夫・妻 | | |
| | | | | |
| | | | 昭和・平成・令和 | |
| | | | 昭和・平成・令和 | |
| | | | 昭和・平成・令和 | |
| 計 | | 人 | | |

3 賃貸借物件（以下「本物件」という。）

| | |
|-------|--|
| 整理番号 | |
| 物件名 | |
| 物件所在地 | |
| 入居者名 | |

同一人物です

裏面も必ずご確認ください

4 誓約内容

- (1) 本物件は、令和元年台風第19号により住居に被害を受けた被災世帯が、自らの資力では住宅を確保することができない場合に、一時的に居住の安定を図ることを目的として、災害救助法に基づく応急仮設住宅として供与されることを十分に理解した上で、宮城県借上げ住宅契約申請を行います。
- (2) 宮城県借上げ住宅契約申請書に記入した内容は事実と相違ありません。
- (3) 被災した住宅の修繕が完了した場合や、新たに居住する住宅を確保した場合、本物件の残りの契約期間にかかわらず速やかに解約を申し出ます。
- (4) 本物件を居住のみを目的とする主たる生活の場所とし、善良なる管理者の注意をもって使用します。
- (5) 入居者及び同居人が暴力団員であるか否かを県警本部に照会されることに同意します。なお、照会の結果、入居者及び同居人が暴力団員であった場合には、入居が無効となっても一切異議申し立てはしません。
- (6) 契約書の入居者の義務の内容を遵守し、定められた期限までに残置物を全て処理した上で本物件を明け渡します。
- (7) 宮城県、市町村、貸主又は管理者から居住態様等の改善要請があった場合には、速やかに従います。
- (8) 誓約に違反したときは契約を解除され、かつ、賠償の責を負うとともに速やかに本物件を明け渡します。
- (9) 本書面により収集された入居者名、同居者名等の個人情報について、個人情報保護のもと被災者支援のための基礎資料として、国、県、市町村が使用することについて同意します。

5 注意事項

- (1) 駐車場代、自治会費、光熱水費等の使用料は入居者負担になります。
- (2) 損害保険は、宮城県が加入するため、別途損害保険に加入した場合でも県から入居者等への支払いは発生しません。
- (3) 応急仮設住宅の入居期間は、被災者生活再建支援制度の加算支援金（賃貸区分等）の対象とはなりません。
- (4) この申請をされた場合でも、入居要件等の事由により契約をお断りする場合があります。
- (5) この申請書に記入した内容が事実と相違していることが判明したときは、契約を解除する場合があります。また、下記のような目的外利用については、契約の解除や損害賠償請求を行う場合があります。
(例) 入居実態がない、週末や休暇期間中だけの居住、無断退去、その他契約条項に違反する行為